

水津川市

第23号

議会だより



本会議	2・3	クリーンセンター特別委員会	19
補正予算特別委員会	4	次の議会日程	19
請願・意見書	5	組合議会報告	20
採決結果	6	議会ワード・広報編集委員会	21
常任委員会	7～9	市民と議会のつどい	22・23
一般質問	10～18	わたしの意見	24

空までとどけ
(南加茂台とんど)

指定管理で運営

12月定例会は、11月30日から12月20日までの21日間の会期で開催した。同意7件・承認1件・諮問1件・議案29件・議員提案5件・請願3件を審議した。

職員の

給与上昇抑制

人事院勧告を受け、50歳台後半層の職員給与水準の上昇を抑制するため条例の一部を改正。

Q 具体的な内容は。

A 55歳を超える職員に対し、月平均約1200円の昇給が停止。

Q 組合との話し合いは。
A 協議はしたが、従来からの人事院勧告に基づき実施する。

反対討論

人事院勧告に従うと言うが、国は実施していない。府内で実施自治体は

木津川市だけ。

職員の意欲をそぎ、職員採用に悪影響を懸念。

酒井 弘一

賛成多数で可決

(賛成18人・反対3人・欠席2人)

環境の拠点創出事業 準備委員会設置へ

山城町上狛地域で築いてきた茶文化による観光

振興を始め、地域間交流を促進する取り組みを推進するため設置するもの。
全員賛成で可決(欠席2人)

障害福祉手当の

支給廃止

障がい者のニーズにあ

った障がい者福祉施策の充実を図っていくため廃止。

Q なぜ廃止するのか。

A 約40年前からの制度で一定の役割を終えたと考ええる。

Q 就労支援、障がい児の放課後支援の声が多い。

A 今までの支給をほかの施策に転換していきたい。

ニーズの高い就労支援、放課後児童デイを25年度から実施していきたいと考えている。

今後、障がい者・障がい児、保護者から要望の強い方向にシフトしていくべきと考える。

反対討論

国の法改正は、就労支援を段階的に講ずるとしている。

市も段階的にし、18歳未満の児童には支給すべき。即廃止は問題である。

炭本 範子



茶問屋ストリートで環の拠点を

12月定例会

加茂文化センター

賛成討論

断腸の思いでの決断である。就労支援、補聴器助成、児童デイなど具体的事業への転換と、狭間の人への支援も含め施策の再構築であり、賛成。

呉羽 真弓

反対討論

就労支援と児童デイ拡充は、今後も積極的に取り組むべき。重度障がい者の利用が不可能で、手当ての廃止は一層の「弱者切捨て」となり反対。

西山幸千子

賛成多数で可決

(賛成15人・反対6人・欠席2人)

加茂文化センターの指定管理者決定

4団体の応募があり、審査を実施。



4月から指定管理に

サービス向上や安定的な運営管理などを総合的に評価した。

高評価を得た財団法人木津川市緑と文化・スポーツ振興事業団に決定。

Q 選定の際、教育委員

会は市内業者を優先的に考慮したのか。

A 広く公募をするという観点から、市内に限定はしなかった。

Q 本会議で配布された参考資料だけでは議会で審議ができないのでは。

A 詳細は、指針に基づき情報公開制度で、資料提供が可能になっている。

A 新たに広聴費と要請・陳情活動費を設けたことで、国・府に直接声が届けられる。

反対討論

加茂文化センターは複数の応募があり、2位との差はわずかであった。

Q パブリックコメントで市民の意見を聴くべきでは。

審査基準が費用軽減に偏って配点されており市民ニーズの向上に疑問。

呉羽 真弓

賛成多数で可決

(賛成19人・反対2人・欠席2人)

政務調査費条例を改正

自治法の改正により、政務調査費を政務活動費に名称変更を行なうとともに使途基準の改正を行なうもので、議会運営委員会から発議。

Q 使途基準の改正内容

A 住民生活に直結する案件は幅広く意見を聴くべきだが、今回は、選挙で選ばれた議員が責任を持って協議し、判断すべきと考える。

反対討論

市民との意見交換を経ないまま、議会での議論のみで政務調査以外への拡大は大いに問題。陳情は、政治活動との線引きが困難であり、反対。

呉羽 真弓

賛成多数で可決

(賛成20人・反対1人・欠席2人)

城山台に民間保育園

補正予算特別委員会

12月12日に委員会を開会。一般会計補正予算総額に4億1376万円を追加し、277億4826万円となった。
次年度以降の施策の展開を視野に入れた事業を計上。

主 な 質 疑

- Q** 防災行政無線整備事業に関し、再入札の説明があった。現状は。
- A** 落札業者が辞退した。2月に一般競争入札で再入札を行う。
- Q** 土地売払いの場所と面積は。
- A** 塩付け土地の売却を。加茂町里うるし2筆434・84㎡。
- 不用な土地は売却を進める。



今後も適正に処分を（加茂町里うるし）

- Q** 環の拠点創出事業とは、どのようなまちづくりか。
- A** 自転車愛好家が集まる拠点づくり。古民家を活用した魅力ある場所にした。
- Q** 災害時の地域支援事業466万円の内容は。
- A** 要援護者リストの電算化。
- 活用は、民生委員を窓口として、地域長や自主防災組織にも配布する。
- Q** 自殺予防事業69万円の取り組みは。
- A** あじさいホールで映画を上映する。各図書館にも関連の書籍を置く。
- Q** 京力農場プラン作成
- 事業112万円の内容は。
- A** 今回、追加で青年就農者2人分を計上した。
- Q** 福祉医療費が3149万円増額されている。伸びの原因は。
- A** 障がい者対象の医療助成が人数、件数とも増加し、8.6%伸びたことが要因。
- Q** 消防用備品購入費279万円の内容は。
- A** 夜間用ベストとAEDなどを購入する。AEDは、女性消防団に配備する。
- 全員賛成で可決
(欠席1人・早退1人)

補正予算の主な事業

・民間保育所施設整備補助事業	2,666万円
・木津南中学校備品購入	287万円
・災害時地域支援システム構築	466万円
・土地開発基金保有土地の買戻し	2,268万円
・市債の繰上償還	7,656万円

委員長
副委員長
委員

西岡 政治
高味 孝之
高岡 伸行
河口 靖子
伊藤 紀味枝
倉 克伊

柴田 はすみ
七条 孝之
酒井 弘一
深山 國男
谷川 光男
西岡 努

請 願

ゆきとどいた教育条件と子育て環境を求める請願

各委員長報告

総務文教委員会は、全項目を審査し、①②④を採択。

賛成討論

36度の教室の暑さは、文科省の基準に程遠い。修学旅行補助も有人警備も市の特徴ある施策であり、存続すべき。特別支援の加配ますます重要。

呉羽 真弓

本会議では、①と④を賛成多数で採択

厚生委員会は、⑤⑥を審査し、不採択。

賛成討論

原発に対し不安が残る中、正しく数値を発表することが大切。また保育園を整えることが、女性の社会参加と経済成長、

市にもプラスになる。

西山幸千子

本会議でも、⑤と⑥は賛成少数で不採択

賛成討論

やましろ保育園通園バスの廃止の再検討に関する請願

請願者

宮島 裕子・篠原 聖子

紹介議員

西山 政治・七条 孝之
谷川 光男・西山幸千子

請願項目

- ①運行の継続を
- ②廃止の再検討を
- ③駐車場の安全確保

Q 署名活動中と今回提出された請願書の題名が違うのでは。

A 題名は違うが、内容は同じとの答弁があった。

Q 自由討議では全員の意見が出たか。

A 全員の意見が出た。

厚生委員会で審査し、③を採択

賛成討論

3園統合時と同様に、保護者への十分な説明が必要。合併協定書の「通園ニーズを見極め検討する」と事業仕分けの「段階的廃止」を重視すべき。

西山 政治

本会議では、③を賛成多数で採択

木津川の環境を守ることを三重県知事に求める意見書

つた理由は。

A がれきの受け入れ中止が大前提だが、受け入れられる場合は流域に悪影響をもたらさない事を求めた。

呉羽他2人より提出。三重県が行おうとしている震災がれきの焼却・焙焼と埋立は、地元住民の理解と合意を得て、厳しく検査し木津川流域へ影響悪化をもたらさないことを求める意見書。

Q 内容が大きく変化した事は、要望書の提出者は納得しているのか。

A 思いを十分引き継いでの提案にしている。

賛成多数で採択
(賛成12人・反対9人・欠席2人)

Q がれきの受け入れ拒否から、木津川の環境を守るためにと内容が変わ

ワード

自由討議

議員同士が議論し、論点を深める（現在は委員会のみで実施）



木津川を守るために

意見書

採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載

賛成＝○ 反対＝× 退席＝△ 欠席＝－

(会派ごと)

議員名	会派名	議 案 名																
		第 4 回定例会																
		木津川市職員の給与に関する条例の一部改正	木津川市障害福祉手当の支給に関する条例の廃止	平成24年度旧北村旧免並村旧里村財産区特別会計補正予算第1号	木津川市加茂文化センターの指定管理者の指定	木津川市子どもたちのために、ゆきとどいた教育条件と子育て環境を求める請願書						やましろ保育園通園バスの廃止の再検討に関する請願書		木津川市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正			木津川の環境を守ることを求める意見書	
						請願24-2-1						請願24-2-2		項目1	項目2	項目3		
						項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目5	項目6					
						冷房設備を夏に設置してください。普通教室にも特別教室にも	夏の暑さがさらに厳しくなっています。普通教室にも特別教室にも	止まないでください。保護者にとつて経済的負担軽減となっている修学旅行費補助金を廃止しないでください。	子どもたちの安心と安全を守っている学校警備員の配置を継続してください。	特別な支援の必要のない子どもたち全てが、充実した教育を受けられるように、市独自で教職員の増員や教育条件の整備をさらにすすめてください。	給食食品中の放射性物質について市独自の検査体制をつくり、子どもたちが、原発事故による放射線の危険にさらされることのないようにしてください。	希望する保育園・幼稚園に通えるように、条件を整備してください。	給食食品中の放射性物質について市独自の検査体制をつくり、子どもたちが、原発事故による放射線の危険にさらされることのないようにしてください。	希望する保育園・幼稚園に通えるように、条件を整備してください。	はましろ保育園の通園バスは、経済性・効率性のみを優先するのでなく、安全を重視して運行を続けてください。	通園バスの老朽化に伴う廃止の再検討をお願いします。	駐車場の安全確保のための条件整備を行ってください。	
高岡 伸行	さくら	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
山本 和延	さくら	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
伊藤紀味枝	さくら	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
倉 克伊	さくら	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
吉元 善宏	さくら	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
河口 靖子	民 主	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
炭本 範子	民 主	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
七条 孝之	民 主	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
西岡 政治	民 主	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
中野 重高	民 主	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
兎本 尚之	きづがわ	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
長岡 一夫	きづがわ	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
西岡 努	きづがわ	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
高味 孝之	きづがわ	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
島野 均	公 明	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
柴田はすみ	公 明	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
酒井 弘一	共 産	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西山幸千子	共 産	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
呉羽 真弓	無会派	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○
曾我千代子	無会派	×	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○
深山 國男	無会派	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
谷川 光男	無会派	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×
片岡 廣	無会派	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×

※議長は採決に加わらない

さくら＝さくら会 民主＝民主改革クラブ きづがわ＝きづがわ未来クラブ 公明＝公明党 共産＝日本共産党木津川市議員団

無会派＝会派に属さない議員

請願審査で 活発な自由討議

総務文教委員会

12月4日に委員会を開
会し、議案7件、請願1件、
要望書1件を審査した。

**全議案可決
請願は一部採択**

職員給与条例を改正

55歳を超える職員の昇給の停止と、若年層の給与抑制の回復。

Q 昇給停止の対象者数は。若年層の調整は。

A 72人。昨年、一定調整したが、来年度も若年層の調整を予定。

全員賛成で可決

12人で委員会を構成

山城茶問屋ストリート
を地域の拠点創出事業と

暴力団排除に向けて

市内の非社会的行為を許さないための条例。

Q 市民が協力するのは、難しいのでは。

A 市民が巻き込まれる事案もあり、連携が必要。

全員賛成で可決

加茂文化センターを 指定管理に

指定管理の理由は、民間活用により、経費削減とサービス向上を目指すため。

Q 指定結果の公表は、H Pの掲載内容は、今後検討する。

Q 指定団体の役員に、市の部長がなっているが、次回より、役員を辞退する。

賛成多数で可決

教育環境の改善を求 める請願書

請願者2人の説明の後、質議・自由討議・討論など、活発な議論となった。

〈賛成の主な意見〉

夏の教室の暑さが示された。特別教室など必要な所から進めよ。



廃校を活用した山の楽校（上勝町）

〈反対の主な意見〉

議員の任期中で可能か
で判断すべき。全てとな
ると、財政面で難しい。

6項目の内「冷房設備の
設置」「修学旅行補助金の
存続」「特別支援策の充実」
「幼稚園の条件整備」を賛
成多数で採択

地方財政強化のため の要望書

全員賛成でなかったため、
委員会として意見書の提
出は行わないこととした

研修報告

10月29日、30日に徳島
県阿南市、上勝町と東み
よし町へ研修。

自治体クラウドを研修

阿南市は、「H P作成シ
ステム」などのクラウド
環境を構築し導入された。
これにより、素早い更新
など効率が上がった。

「基幹系」は、システム
障害や経費増大が想定さ
れ見送った。専門職員を
配置することで、経費削
減に努められている。

廃校を活用

上勝町は、廃校を宿泊・
研修施設として改修。運
営を民間委託することで
利用者が増加。Uターン
・Iターン者も108人
となった。

東みよし町は、地元の
活性化を考える会を中心
に、学校にバンガロー・
炊事場を整備。旅行社と
連携して地域再生に取り
組んでいる。

障害福祉手当の 廃止へ

厚生委員会

12月5日に委員会を開
会し、議案9件、請願2件、
要望書1件を審査した。

**全議案可決、請願は
1件一部採択・1件不採択**

障害福祉 手当の廃止

市独自の障害福祉手当
を廃止するもの。

Q 対象者と金額は。

A 1349人で222
9万円。

Q 代替策として、市長
が就労支援や児童デイの
方向を示したが、金額は。

A 4600万円。内訳
は、国が1/2、府・市
それぞれ1/4である。

Q 他に重度障がい者の
手当はあるか。

A 府の特別障害福祉手
当がある。

Q 軽・中度の難聴児へ
の補聴器補助の考えは。

A 25年度予算に向けて
協議して行く。

賛成多数で可決

子育て環境を求める 請願書

請願者の説明の後、質
議・自由討議・討論を行
った。

Q 給食食品中のセシウ
ムは不検出だ。

市独自の検査をする意
味は。

A 給食モニタリング検
査を実施してほしい。

**2項目とも賛成少数で不
採択**

やましろ保育園通園
バスの廃止の再検討
を求める請願書

請願者2人の説明の後、
質議・自由討議・討論を
行った。

Q バスを新たに購入す
るといふことか。

A バス通園の園児の状
況を把握し、それにあつ
た手段を講じてほしい。

**3項目の内「駐車場安全
確保のための条件整備」
を全員賛成で採択**

震災がれき受け入れ
中止の要望書

要望者の説明を受けた。



富士宮市での研修のようす

研修報告

全員賛成でなかったため、
委員会として意見書の提
出は行わないこととした

地域で
認知症を支える

10月10日に静岡県富士

宮市で認知症を地域で支
える取り組みを研修した。
認知症になっても安心
して暮らせるよう、行政
と地域が一体となり認知
症サポーター養成講座の
実施、サポーター店・サ
ポータードライブバーなど
地域で徘徊の見守り支援
の取り組みをしている。

後日、委員会を開会し
研修内容を市と協議した。

シビルミニマムで
福祉向上へ

11日に、岐阜県各務原
市で福祉施策を研修した。
シビルミニマムとは、
市の福祉施策を総合的に
とらえ、官と民との役割
分担を明確化するもの。
行政と市民の役割を検
証し、最低保障の水準を
市民に示すことで福祉の
底上げを図っている。

地域主権改革一括法により 8つの条例を制定

産業建設委員会

12月6日に委員会を開会し、議案12件を審査した。

全議案を可決

公共下水道

会計の補正

地域主権改革一括法により、今まで国が定めていた基準を、条例で定めることになった。

人件費と消費税額の確定により、743万円を減額するもの。

全員賛成で可決

Q 全て国の基準のままか。

A 国の基準どおりとしている。

全員賛成で可決

水道会計の補正

収益的収支は、326万円の減額。資本的収入と支出も減額の補正。

Q URの工事の遅れはなぜか。

A 工事内容の変更を行ったため。

全員賛成で可決

市道の路線の認定

城山台を中心とする213路線の認定。

Q 府道上狛城陽線の一部を市道にするには、府の整備が終わってから行うべき。

A そのようにしていく。府と十分協議して行う。

全員賛成で可決

研修報告

市町村設置型の合併浄化槽

10月16日、静岡県掛川市で污水处理を研修した。掛川市は、下水道整備率が26・5%と大変遅れている。そのため、污水处理を下水道、農業集落排水、コミュニティプラント、合併処理浄化槽の組み合わせで前進させようとしている。

特に、市設置型の合併浄化槽により①短期間で設置が進む②単独浄化槽からの転換が進む③維持管理の向上、の成果があるとしている。

住宅改修の助成制度

17日には、愛知県岩倉市で住宅改修助成制度を研修した。

岩倉市では、昨年業者団体の請願があり、議会が全会一致で採択したことから市が実施に踏み切った。今年1年間の事業。すでに実施していた民間。間木造住宅の耐震改修、下水道設置など9つの住宅関連補助制度に上乗せする形で、総額10%、10万円を上限として補助している。



掛川市での研修のようす

一般質問

17人が質問を行なう



旧加茂図書館の活用は

埋蔵金である公有財産の活用を

台帳整理から始める

Q 現在、使用されずに眠っている市保有の土地や施設が多くある。埋蔵金だ。全て市民に公開し公募して活用すべきだ。例えば、旧加茂の議場は市民活動場所、図書館跡は体育館と併せての活用、銭司の公共用地は道の駅等に。

A 総務部長 まずは、台帳整理から行う必要がある。

経済活性化は女性開放

Q 不況の原因は、労働市場で女性が活用されず教育投資に見合う利益が出ていないためだとの指摘がある。女性管理

A 市長 なかなかだが、今後とも努力していく。



曾我千代子

Q ①避難場所の選定基準は。

②和同開珎の里をもっとアピールして活用を。

③図書館の開館時間を早めよ。

A 総務部長 ①見直し作業をしている。

教育部長 ②市単独では難しい。

③要望は届いていない。

東中央線の木津川架橋の着工は

25年10月を予定

Q ①木津川を渡河する橋梁の下部工の着工の見通しは。②民有地の用地交渉は、市が先頭に立ち進めるべき。

A 建設部長 ①府の予定では、25年10月中旬に下部工着工で国と協議中。②取得できるよう最大限の努力をする。

管理体制の見直しを

Q ①池水の土地の廃棄物処理施設用地の利用の方針は。②銭司の土地利用の事業目的はいきて

いるのか。③池ノ上と大田山の事業目的は異なるのか。④西大間田のバイパス路線の位置付けは、活かしているのか。⑤目的のない土地の精査を。

天井川の防災対策の強化

総務部長 ⑤極力整理を進める。

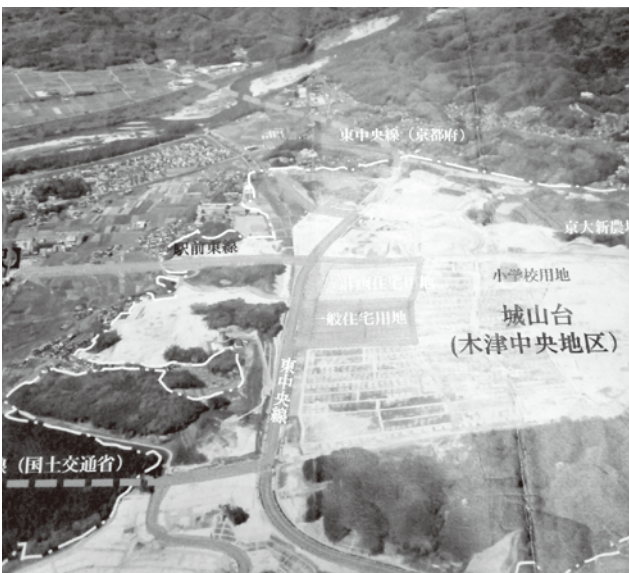
A 生活環境部長 ①使用予定はない。②現在、計画はない。

建設部長 ③現況の保全を行っていく。④府の整備計画に合わせ、利用を図る。

建設部長 ①水位計や防災カメラの設置。②水防警報河川と指定。③改修により、治水の安全は大きく改善される。③水位計が設置。今後、府に対して防災対策を要望する。

Q ①井関川の防災の対策は。②大井手川の防災事業費に15億円の予算が付いたが、河川改修は万全か。協議は。③不動川・鴨子川・天神川防災対策について府への要望は。

建設部長 ①水位計や防災カメラの設置。②水防警報河川と指定。③改修により、治水の安全は大きく改善される。③水位計が設置。今後、府に対して防災対策を要望する。



整備が進む東中央線



2016年開設予定

働きかけ要綱制定後の状況は

適正な公務執行が保たれている

Q 市職員に対する働きかけに関する要綱制定のその後の状況は。

A 市長公室理事 働きかけがあつたとの報告は受けていない。制定後、一定の抑止力が働き適正な公務執行の確保が図れていると理解している。また、市政運営の透

明性を高めることで、市民に信頼される市政の実現につながっていくものであると考えている。

Q 京大農場立地決定を受けて京大農場の市への移転はどのような効果をもたらすと考えているか。

A 市長 ①まちづくりに大きな弾みがついた。②研究成果が、地元還元される事に期待。③農家と連携することにより、農業振興に寄与。④自然や土に触れ合う機会が生まれる事に期待。

Q 農業振興にどのような効果をもたらすか。

A 市長公室長 地域に



さくら会 吉元 善宏

適合した農産品の研究が進められる事から、さまざまな農産物の木津川ブランドが、創設される。耕作放棄地や休耕田などの活用も期待。

Q アグリビジネス関連の企業誘致に力を入れている。

A 市長公室長 京大と連携し、関連企業の誘致活動を進め地元雇用の促進、税収の確保に努めている。

木津川市消防本部を設置せよ

構成町村と検討を行う必要がある

Q ①奈良盆地東縁断層が動いたとき、市では震度7で全壊家屋1万2300戸を想定している。市民の命と財産を守るために、市消防本部を設置せよ。

②人口増により救急車が足りない状況に至る。中部消防本部に救急車を1

③消防団員が民家火災を発見した場合、メールで出動要請をすると聞いた。なぜ詰所のサイレンを鳴らさないのか。

A 市長・副市長・総務部長①構成町村との常備消防のあり方等、検討を行う必要がある。



きつがわ未来クラブ

長岡 一夫

②今後、必要性があれば、組合に申し入れをする。

③サイレンを鳴らすか、消防団と取り扱いについて協議して行く。

Q 地下道北口の市道の整備は地元区や見守り隊から、相楽小学校の地下道北口市道の通学路整

備の要請をしているが、進んでいない。速く進めよ。

A 教育部長 通学路で改修の必要な場所と位置づけており、関係機関と連携を図り、1日も早い改修を目指して取り組んでいく。



消防団の水難訓練

市長・議員の役職加算をやめよ

見直すべきか否か研究すべき問題

Q 市長・議員への期末手当は、給料・報酬額に上乗せ加算し、支給されている。この加算は、バブル期の産物であり、廃止した自治体もある。

①加算導入の経緯は。

②上乗せ額はいくらか。

③上乗せを廃止せよ。

A 市長・市長公室理事

①平成2年の人事院勧告を受け、条例で規定した。

②12月分で316万円。

③議員分の加算廃止に関しては、答えられない。

見直すべきか否か研究すべき問題。

Q 覚書の締結は慎重にせよ

①東山墓地管理委員

会の委託料の今後は。

②今後の管理主体は。

③URとの協議を控え、今後どうするのか。

A 市長・生活環境部長

①25年度で終了する。

②委託料終了後も管理委員会にお願いする。

③今後協議する。

A 市長・教育長・教育部理事 支援の必要な保護者が増加している。機能や役割を検証したい。府へ強く要望する。支援体制について、今後も強化する。



呉羽 真弓

Q 学校にSSWの配置を改善例が報告されている。チームでの取り組みや福祉の視点が重要。養護教諭の定数外配置の実施を。

役 職	加算額	年間
市 長	31万1960円	92万282円
副市長	25万8785円	76万3415円
教育長	23万2970円	69万2115円
議 長	7万500円	20万7975円
副議長	5万7000円	16万8150円
議員(委員長)	5万4000円	15万9300円
議 員	5万2500円	15万4875円

加算額の一覧表

山城福祉センター解体に関連して

老朽化・耐震不適格により解体

Q 山城福祉センター解体後の上狛地域の公民館的役割を果たす施設は。駐車場の計画は。また避難場所が無くなるが。

A 総務部長 山城支所の別館として、福祉センターのホール機能を確保する。

解体後は、来訪者用の

Q 山城福祉センターの敷地の一部は、児童の通学路になっている。解体期間中の安全確保は大丈夫か。

A 総務部長 児童・生徒の安全を第一に考

慮し対策を講じる。何らか迂回路が取れないか協議を進め、併せて地元地域への説明を行う。

Q 解体に当たり、地域住民への説明会を開き理解を求めるべきだ。

A 総務部長 地区長や利用団体へ整備計画について説明した。

山城福祉センターに寄贈された立派な絵画、どん帳等の取り扱い。

Q 山城福祉センターに寄贈された立派な絵画、どん帳等の取り扱い。

A 総務部長 具体的な検討はしていない。今後、地域住民の意見を参考に対応を考える。

学校給食費を公会計に



給食費を公会計に

市内防犯灯をLED照明に

リース方式も含めて検討する

Q 民間資金を活用したリース方式で、公共施設にLED照明の導入を。寿命が4万時間で10年使える。故障しにくく、省電力、CO₂排出量削減のメリットがある。積極的に検討を。

A 総務部長 地球環境の問題や維持管理コ

ストの観点から導入が必要である。今後、費用負担面で地元とも調整する。市の維持管理部分は導入する。

Q 支援チームは退職校長、職員で構成する。いじめ、不登校、非行、

学校支援チーム創設を

A 教育部理事 木津南中、山城中学校区に「学校地域支援本部」をつくり、学校、家庭、地域で健全な育成に取り組んでいる。



公明党 島野 均

Q 全国で3割の自治体が公会計だ。未納の人数と金額は。経費、食材等全体で議論できないか。給食費を小学校低・高・中学校の3段階としては。

A 教育長・教育部理事 公会計にしたなら未納問題が解決するとはならない。23年度は、80人で158万円。学校給食センター運営委員会で検討する。



解体される山城福祉センター

幼稚園の3歳児拡充とバス増便を

4・5歳児の受け入れが基本だ

Q ①入園希望者の多い3歳児全入へ努力せよ。

②木津川台の私立幼稚園の早期開園へ。

③幼稚園バスを増やし、長時間通園の負担軽減を進めよ。

A 教育部長 ①4・5歳児の受け入れが基本。城山台からの園児増もあ

り、3歳児の教室増は、困難。

②府外へも募集をし、努力している。

③現状のまま、効率的なバス運行に努める。

コミバスをなくすな

Q 利用者の増加のために、使い勝手の良い回数券の導入を。



日本共産党
西山幸千子

積極的な職員採用を

Q ①保育士の正規と非正規の割合は。

②市職員の目標人数と現在の職員数は。

③今後も職員不足への対応が必要だが、今年の採用予定数は。

A 市長公室理事 ①正規は3割程度。

②423人。休職者12人を含めて429人。

③23人を予定。健康管理も含め対応していく。



バスの台数が足りないのでは

市職員が働きやすい職場環境を

ワークライフバランスを実現する

Q 急速な少子化が進む中、社会を担う子どもが健やかに生まれ、育

成される環境整備を図るため次世代育成支援対策推進法が成立した。本市職員の働く環境が悪ければ住民サービスの質に悪影響が出るが、

①特定事業主行動計画は

②時間外勤務の偏りはないか。ノー残業デーの拡大、定時退庁は図られているか。

③年次休暇の取りやすい環境整備は。

④仕事と子育ての両立か



民主改革クラブ
中野 重高

ら、育児休業を取りやすく、職場復帰のしやすい環境整備は。

A 市長公室理事 ①20年7月策定。この間、

育児休業法等の改正があり、23年4月に見直した。毎年12月に広報、HPで公表している。

②職員に周知徹底する。

③職員に取得勧告し、積極的に取り組む。

④男性第1号の育児休業取得者があった。職場復帰も含め、体制づくりに取り組む。

ワークライフバランスの実現を



虐待・DVの根絶を

庁内外の各機関が連携し対応する

Q ①「児童虐待の早期発見と適切対応のためのチェックリスト」を配布後、各関係機関との連携はどの様に機能しているのか。また、効果は。

A 保健福祉部理事 臨機応変に連携をとる体制で、効果は一定反映

Q ②今年度31件のDV被害者のワンストップサービスの機能は。②子どもにまで深刻な影響を及ぼす事があるが、どの様な支援をしているのか。③今年度DVと判断した件数は。

A 保健福祉部理事・生活環境部長 ①女性セ



さくら会
伊藤 紀味枝

ンターが主な窓口で、子育て支援課と連携している。②各機関で役割分担をし、子どものケア・処遇を検討し、サポートする。③13件。

Q ①高齢者虐待で虐待と判断した件数は。②事実確認後の対応は。

A 保健福祉部理事 ①5件。②関係機関と連携しネットワークを構築し、早期発見と見守りに努めていく。

Q 高齢者世帯や障がい者世帯等を対象にした戸別ごみ収集の導入を。

A 生活環境部長 「ふれあい収集」は、先進地の実施状況を参考にし、関係者と協議し、検討していく。



ふれあい収集の導入を



広がるナラ枯れ

鳥獣被害とナラ枯れ

市民との情報共有を重視する

Q 今年度の有害鳥獣捕獲の実績と特徴はどうか。増えすぎた生息数の適正管理の方針はあるか。

A 建設部長 今年度10月末までの捕獲実績は、鳥類509羽、獣類

123頭で、増加傾向にある。生息数は推計数字しかない。実態把握に猟友会との協議回数を増やす。

ナラ枯れの実態は。拡大を止める方策は何か。
A 建設部長 今年度10月末までの捕獲実績は、鳥類509羽、獣類



日本共産党
酒井 弘一

総合計画の中間見直し

Q 4年間の行革は財政支出削減だけ。

A 市長・総務部長 行財政改革は、時代に

合った市民サービスを行うための構造改革を一層進める。中間見直しは審議会に諮問する。同時に市民アンケートを行う。

職員への市民の苦情

Q 職員対応で市民から苦情を聞く。どう考えるか。

A 各部長 市民からの声に真摯に対応する。

防災会議に女性委員を増員せよ

女性からの視点は重要である

Q 東日本大震災後、女性国会議員参画の復興対策会議でアレルギー対策の除去食を非常食に加えることが実現した。また、車いすの方が避難所に入れないこと、女性トイレ、生理用品、乳児のミルクなど被災地の課題は山積みである。

そこで男女共同参画の視点を活かした復興計画の実施、地域防災計画の見直し、防災会議条例に女性の委員を一定数登用する改正の動きが全国で広がっている。

府でも条例改正に向けて進んでおり、本市でも改正すべきである。



民主改革クラブ
河川 靖子

A 市長 検討していきたい。

より利便性を求める

Q 加茂6路線のコミバスは、デマンド方式予約型バスになるが、戸口から戸口へのデマンド方式にできるのか。

加茂から木津地域へ行

けるよう、市全体の運行形態を見直す考えは。法花寺野地区を公共交通空白地区から解消すべき。

A 市長公室長 現行の時間と路線のままで、電話予約で乗車してもらう。

見直す考えはない。路線新設の考えもない。



戸口から戸口へのデマンド方式に

いじめゼロは現実的に不可能では

いじめ見逃しゼロを目指す

Q 意見を聞くことは大切だが世間に流される、教育の目標（教育基本法第2条）を実行できる現場環境を守り整えていくことが、児童生徒のためにつながっていくと考えるがどうか。

A 教育長 右往左往せず軸を持って、児童

生徒の公共の精神を磨く等の社会性の育成に努め、自立的に生きることのできる基礎を培っている。教職員の指導力の向上や教育環境の整備をする事が、いじめを許さない学校風土につながる基本的な事柄であると考えている。



きづがわ未来クラブ
兎本 尚之

Q 人権推進課は、総務部が市長公室にあるのが時代に合った組織体制では。

A 副市長 意見・提案は、今後十分参考にする。

組織の意識向上へ

Q 職員数は、類似団体との比較人数ではなく、市の事業を適正に運営していくために、しっかりマーケティング調査をし、何人が適正なのか把握すべき。

A 市長公室理事 今のところ、そこまで考えていない。時期に合わせて、必要な時に人を充てるといったような整理をしている。



教育の目標を実行できる学校風土に



やましる保育園バスの継続を

ごみ収集方法を統一すべき

旧町時代の収集方法で実施

Q ①ごみ収集の現状と
考え方は。②戸別と
拠点収集の経費比較は。

A 生活環境部長 ①山城
町域は拠点収集。木
津・加茂は、ほとんどが
戸別収集で、統一する考
えはない。②戸別収集は、
拠点収集に比べ費用が増
加する。

地域格差のない改革を

Q ①待機児童の状況は。
②保育園送迎バス継
続は。③旧木津地域の保
育園の統廃合は。④加茂
・山城地域に「認定こ
ども園」設置の考えは。

A 教育長・市長・保健
福祉部理事・教育部



谷川 光男

理事 ①保育園児は6人。
幼稚園児は89人。②保護
者アンケートは実施して
いない。
バス老朽化により廃止。
③実施していない。民間
保育園の誘致のみ。④先
進地を視察し、研究して
いる。

危険建物は行政指導を

Q ①撤去後の固定資産
税の減免の考えは。
②危険家屋の対応結果と
その後は。③廃屋対策の
取り組みは。

A 総務部長・生活環境
部長 ①減免措置の考
えはない。②1軒解体。
定期パトロール年2回実
施。その後、住民からの
通報なし。③住民からの
苦情により、所有者に要
請している。

仮称『市民のつどい』の実施を

政策ごとの地域説明等を実施する



民主改革クラブ
西岡 政治

Q 協働、参加、参画、
情報の共有のまちづ
くりを進めるには、市民
と市長、行政との直接対
話が不可欠。行財政改革
推進計画、行動計画の改
革目標に示された、タウ
ンミーティング、ワーク
ショップが行われていな
い。年1回以上、(仮)市

民のつどい」を行う考え
は。

A 市長 政策ごとに地
域説明会や市のHP、
パブリックコメント等で、
市民の意見を聞いている。
条件を提示し広く募集を
する。

Q (仮)木津川台幼稚園
の土地及び建物の取
引の誘致条件は。

扱いについて、近畿日本
鉄道(株)と新協定書、確
約書を締結し、約1年が
経過した。
①1年間の取り組み状
況は。②国庫補助金、認
定こども園の見直しは。
③開園補助金制度の制定
の取り組みは。④幼稚園
の誘致条件は。

A 副市長 ①府私立幼稚
園連盟の会員を対象
に誘致説明会。府外にも
広げ、学校法人を対象に
誘致活動を進めている。
②現時点では、具体的
計画はない。
教育部長 ③近鉄が幼稚園
を開園した者に補助金を
支払う。④当該土地の一
体利用で建築基準法や都
市計画法による法規制に
合致する用途計画である
こと。



市民との対話を

障害福祉手当廃止に替わる施策は

障がい者の働く場の創設である

Q 具体的に示せ。

A 保健福祉部長 旧当
尾小学校で就労支援、
放課後児童デイサービスの
実施を鋭意検討してい
る。

Q 18歳未満の重度障が
い児の非課税世帯に
は支給を願いたい。

A 市長 障害福祉費は

約10億円。今、さまざま
な事業を実施している。
スクラップアンドビルド
である。

Q 旧当尾小学校のバリ
アフリー化を。

A 市長・保健福祉部長
府の福祉のまちづく
り条例に基づいた改修は、
必要である。
事業者に貸すので、原



民主改革クラブ
炭本 範子

則、使う方が改修。市が
補助をする形をとる。

火災からの課題

Q 水利状況を調べ直す
必要があるのでは。

A 総務部長 要望等を
受け、検討していく
べき課題である。

Q 道路も調べるべき。

A 総務部長 現場に
応じた最善の策が取ら
れている。

Q 25年度は、住宅用太
陽光発電への助成は
あるか。

A 市長 国の制度の継
続が不透明。当初か
らは見送る。

Q 遊休農地での太陽光
発電設置に助成を。
A 市長 考えはない。



消火栓の更なる設置を

高齢者福祉の充実を

できる施策から取り組む

Q 高齢者見守りネット
ワークの進捗状況は。

A 保健福祉部長 配食
サービスや商店、企
業、商工会を対象に見守
り隊を養成中。

Q 配食サービスは現在
週1回。見守りを兼
ねるなら回数を増やすべ
き。

A 保健福祉部長 利用

者の希望を聞きながら、
社協と話し合う。

Q 悩んでいる介護家族
等が気軽に相談でき
る体制づくりが必要では。

A 保健福祉部長 医師
等を紹介するガイド
ブックを作成中。施設で
の相談については、他市

Q 認知症サポーター養
成講座を、子ども向けに
開催してはどうか。

A 保健福祉部長 来年
度から学校で実施予
定である。

Q 認知症は早期発見、
治療が大事。専門医
を招致すべき。

A 保健福祉部長 山城
南保健所と相談して
いく。



公明党
柴田はすみ

ジェネリックの啓発を

Q ジェネリック医薬品
の啓発の取り組みは。

A 保健福祉部長 品
質や副作用等の不安
要素があり普及しにくい
との声がある。今は行っ
ていない。

Q 選ぶのは本人。国保
税抑制のため、啓発
すべき。

A 保健福祉部理事 大
事な問題。安全性等
を考慮し検討する。



ジェネリック医薬品の利用・促進を

今後も地元への説明を丁寧に

クリーンセンター建設特別委員会

12月11日委員会を開会。生活環境影響調査結果の概要、廃棄物・汚染土壌調査状況(中間報告)、クリーンセンターに係る木津川市・精華町・西部塵埃処理組合の協議・調整結果について、説明を受けた。

生活環境調査の縦覧

市のHP等で1カ月間縦覧。意見提出が可能。

廃棄物・汚染調査

建設に伴う土地の形質変更にあたり、適切な対応策を検討する。

協議・調整結果

3者間で役割・費用負担・負担率等を調整した。

主な質疑

を進める。3月末を目指す。

Q 環境アクセスの意見書が提出された場合の対応は、

A 専門的な見解を得て進める。

Q 地元説明会により、理解が得られたか。

A 得られたと言えない。情報の共有を進める。

Q 都市計画決定の進め方は。

A 用途地域の見直し等

Q 人口予測が、13万4750人となっているが、94t炉で足りるのか。

A 計画人口、計画ごみ量で計算しており、問題ない。

Q 24時間稼働により、人員はどれだけ必要か。

A 3〜4班体制となり、現状では1〜2班が不足。民間委託を予定している。

平成25年 第1回(3月)定例会予定

月	日	曜日	会 議 ・ 委 員 会
2月	19日	火	議会運営委員会 (議会招集告示)
	26日	火	本会議(開会) 招集・提案説明・質疑・委員会付託等
	27日	水	本会議 (予備日)
	28日	木	本会議 会派代表質問
3月	1日	金	本会議 会派代表質問
	4日	月	総務文教常任委員会
	5日	火	厚生常任委員会
	6日	水	産業建設常任委員会
	8日	金	クリーンセンター建設特別委員会
	11日	月	補正予算特別委員会
	12日	火	本会議 一般質問
	13日	水	本会議 一般質問
	15日	金	本会議 一般質問
	18日	月	予算特別委員会
	21日	木	予算特別委員会
	22日	金	予算特別委員会
	25日	月	議会運営委員会
	26日	火	本会議(閉会) 議案採決等
	27日	水	本会議 (予備日)

- 日程については、変更となる場合があります。
- 本会議初日1週間前の議会運営委員会で日程が確定します。
- 本会議・委員会は9:30からはじまります。どうぞ傍聴にお越しく下さい。
- 次回議会日程の他、今までの本会議の様式や会議録について、市のHP(市議会)から閲覧いただけます。ぜひご覧ください。

組合議会報告

**笠置町の新しい議員を
迎えて役員を改選**

(加茂笠置組合)

11月16日、笠置町で新しく選出された5人の議員を組合議会に迎えて、会役員を決定するため、臨時会を開会。

副議長に西村典夫氏、

議会運営委員に滝口一哉氏と向出健氏を選出。監査委員には大倉博氏を同意した。

議長の諮問機関として財産貸付検討委員会を設置することを決定した。

心強い

休日診療所

(広域事務組合)

11月19日に定例会開会。

議案5件を審議した。管理者より相楽休日応

急診療所について報告があった。24年6月に開設

し、10月までの受診件数は、169件で、1日あたり6.5件。また、山城病院へ転送した患者数は、6人。

23年度決算は、収入額6億1069万円。支出額は、6億925万円となった。

全員賛成で認定

救急無線

デジタル化へ

(相楽中部消防組合)

11月27日に定例会開会。

監査委員に西岡良祐氏(笠置町)を全員賛成で同意した。

23年度決算は、収入額12億9520万円、支出額は12億6482万円。

全員賛成で認定

職員の給与に関する条例の一部改正及び、火災

予防条例の一部改正並びに24年度補正予算第2号について審議した。

全員賛成で可決

不祥事根絶へ

(西部塵埃処理組合)

11月27日に定例会開会。

24年度補正予算は、修繕費・ごみ搬出委託料で計2547万円の増額。

全員賛成で可決

23年度決算は、不祥事

案での人件費増や新クリーンセンター稼働までの補修工事費などで前年度より2億281万円の増額で計5億738万円となる。

全員賛成で認定

12月19日臨時会開会。

ごみ手数料の着服での起訴に伴い、訴えの提起と訴訟費40万円の補正。

全員賛成で可決

**新名称の
ための補正**

(山城病院組合)

11月29日、定例会開会。

看護師確保のための100万円と病院名称変更に伴う看板等の1000万円の増額補正。

全員賛成で可決

23年度病院決算は、医療収益が昨年度より2億4124万円の増で、6694万円の黒字。

Q 表面上黒字だが、繰

A 入金をどう考えるか。完全な独立採算でな

く、構成市町村など他会計の繰り入れによる運営は必要。

全員賛成で認定

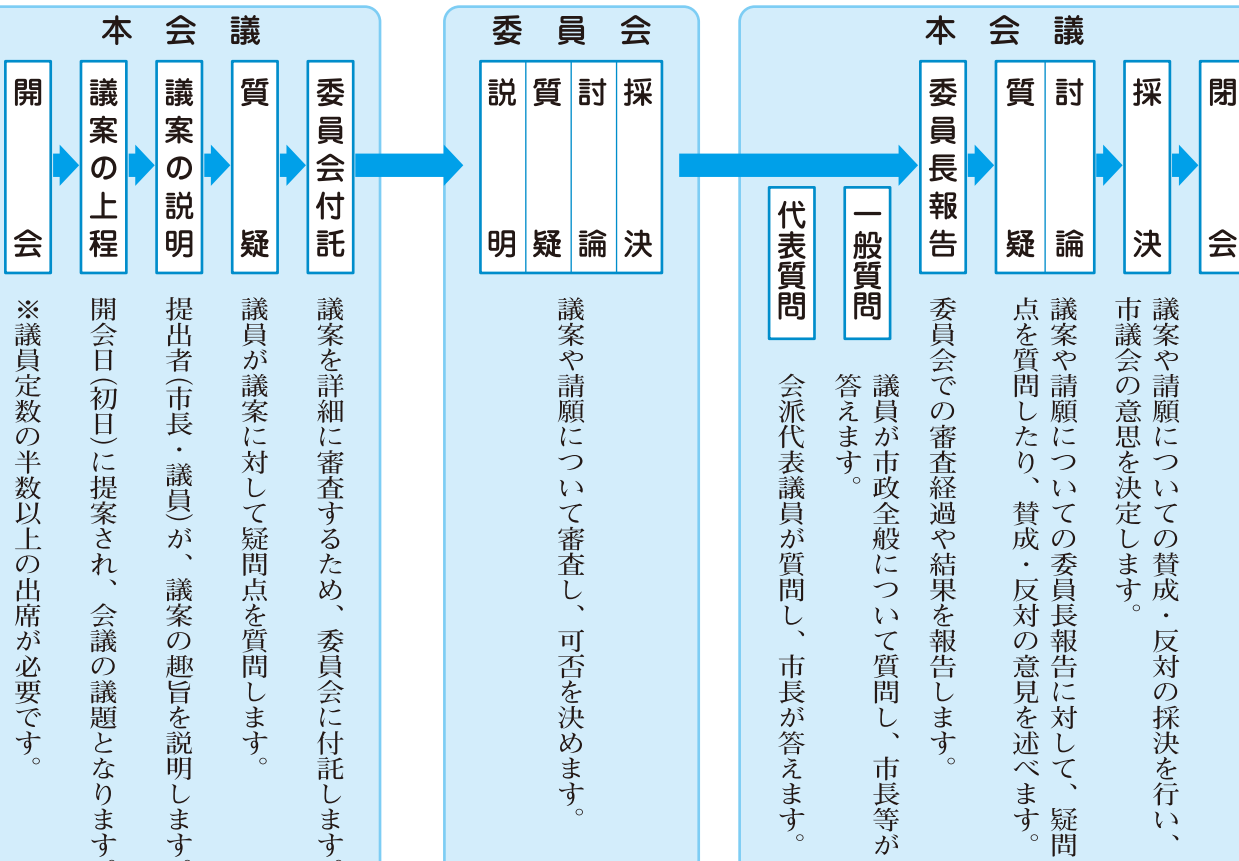
23年度老人保健施設決

算は2346万円の赤字。入所者数減の対応は、地域包括ケアなど全体で考えることが必要。

賛成多数で認定



病院の新名称発表 (10月7日)



第4回

市民と議会のつどいを開催

9月定例会における審議結果などの概要説明後、市政全般にわたり市民の皆さんと意見交換を行なった。

日時：11月10日(土)
午前10時
～11時55分
会場：加茂文化センター
(担当議員 6人)
参加者：8人



Q 議会だより (22号)

の「コンビニ交付で住基カード無料」の見出しは、コンビニがカード交付するように錯覚するのでは。の認識している。

A 今後、わかりやすい表現にする。

Q 議会は年4回の開催、一方「つどい」は年2回。

A 議会や議会以外の回答については、市長の答弁も含め、今後議長とも相談して回答を行ってきたい。

A 今のところ、予算決算時に開催している。

Q 当尾小学校が閉校になり、スクールバスが無料で行っているが、銭司の子どもは有料で差がつくのはおかしいのでは。

また、教育委員の会議でも活発な発言が少ない。議会はどう考えるのか。

日時：11月10日(土)
午後2時
～4時
会場：アスピアやましろ
(担当議員 6人)
参加者：2人



Q 住民票等のコンビニ交付には反対しない。もっと普及する方法を考えて、窓口の職員を削減しては。

A 推進は行政がすべきで議会は審議して、賛否はあったが可決した。

Q 各種団体の補助金交付の内容は、監査報告や事業報告などを見て議員は確認しているのか。

A 補助金は要綱により交付されている。行政と議会それぞれで確認を行

っている。

Q 市長交際費使途中の教育委員会歓送迎会・校長歓送迎会の支出は疑問だ。全廃すべきでは。

A 微妙な問題である。行政に伝える。

Q やましろ保育園通園バス廃止を行政が決定した。議会はどうか対応するか。

A バス存続の請願書が提出されると聞く。議会で審議する。

日時：11月10日(土)
午後7時
～8時50分
会場：高の原小学校
(担当議員 6人)
参加者：7人

Q コミバス運行事業の実績内容は。

きのつバスは便利なので、ぜひ存続してほしい。



A 地域公共交通総合連携協議会で、再検討調査結果に基づき、新たな交通サービスの実現に向け検討されている。

きのつバスは奈良交通に4900万円で委託。年間利用者は、24万5千人。

Q 市外に向かつての市のアピールポイントは。

A 総合計画に基づき市の発展を目指す中で、文化財の数が府内で京都市に次いで2番目であるこ

とや、若い世帯が増え、人口が増加していること。

Q 学校の警備が機械警備に変更されるのはなぜか。

A 安全面を確保しつつ、経費削減を行うため。

Q 国民健康保険の運営状況はどうか。

A 加入世帯は全世帯の33%。低所得者と開業医の増加により状況は厳しい。



A 議会基本条例に基づ

き開催しているが、参加者が少ないことに苦慮している。

地域長にお知らせしたり、時間帯を配慮し取り組んでいる。

テーマの設定や全議員

が集まって1カ所での開催などの取り組みについても考えている。

Q 住基カードはセキュリティが心配だ。

A 先の議会ではセキュ

リティや費用対効果の議論があり、コンビニ交付が決まった。セキュリティの心配はないとの行政の答弁であった。

Q マスコットキャラクターはどれくらいの頻度で利用されているか。

A さまざまなイベントには出動している。

木津川アートのPRで活用している。

活用している。



創設に向けての意見書」

の結果はどうなったのか。

A 厚生常任委員会で審査したが、委員全員賛成に至らず、意見書の提出は断念した。

Q 相楽小学校の通路は段差があり大変危険だ。修理をしてほしい。

A 要望として行政に伝える。

Q 東山墓地のことを担当部長に聞いても返事がないので、今日この場で

報告した。

報告した。

聞きたい。

A 墓地管理委員会で協議をされている内容である。

Q テーマを決めて「つどい」を開催したら参加

者が増えるのではないか。

A 全体的なテーマを全議員協議会で協議していきたい。

Q 財政は黒字か。

A 23年度決算は、4億2494万円の黒字であった。

行った。

1月11日、正副議長と

議会運営正副委員長の4人は、今後の市政に活か

すべく、市長に「市民と

議会のつどい」の実施報告書（市議会HPに掲載

中）を手渡し、行政への

『市民と議会のつどい（議会報告会）』とは

○木津川市議会基本条例

（抜粋）

（議会報告会）

第6条 議会は、議会主

催の議会報告会を開催し、討議内容及び議決

事件を説明するとともに、市政の課題解決に

向け市民との意見交換を行う。

○毎年2回（5月・11月）

全議員を5班に分け、市内の5中学校区ごとの

担当を抽選で決め、開催している。

ただし、議長と議会運営委員長、常任委員長、広報編集委員長は2回出席。

日時：11月11日（日）
午後2時～3時45分
会場：梅美台小学校
（担当議員6人）
参加者：2人

Q 市民が何万人もいる中で、これだけの人数で

「つどい」を開催されることをどのように思っているのか。改善している

ことはあるのか。

日時：11月11日（日）
午後7時～8時30分
会場：市役所
（担当議員6人）
参加者：4人

Q 議会だよりの一般質問の答弁者の部長の個人名を入れてほしい。

A 各担当部の役職名を明記している。

Q 「森林保全の環境税の

わたしの意見

このコーナーへの投稿を
お待ちしております。(220字以内)



奥田 悦子 さん
(南加茂台)

ニースポーツ「マイバック」にはまつて

南加茂台シルバークラブで、ニースポーツ「マイバック」を始める事になったので私も参加しました。4m離れた枠内に円形パッスをスティックで押し滑

らせて入れるゲームです。なんだ簡単!と思いきや、なかなかどうして、腕の力加減がつかめず、枠に届かなかったり、オーバーしたりで、折角入った自分のパックも弾き出す始末です。今では週一回のこのひと時ワイワイキャーキャーと歳も忘れて皆と溶け込める不思議なスポーツを楽しんでいます。家から外へ一歩、身体を動かすことは楽しいですよ。



森川 博史さん
(山城町平尾)

消防団員募集

私は消防団に入団して23年になります。最初は消防団活動の事は何も分かりませんでした。が、諸先輩方のご指導により、火事の出勤や行方不明者の捜索、防災設備の点検、使い方等々身

につけることが出来、重要性も認識出来ました。また活動以外にも幅広い年齢層とのかかわりにより色々得るものがありました。消防団は地域コミュニティの一翼を担っていると思います。地域防災の要ともいえる消防団!!木津川市民の安心安全を守るべく、一人でも多くの消防団員を募集しております。皆さんの力で明るく楽しい地域コミュニティを育んでいきましょう。



林 薫 さん
(兜)

「木津川アート」に参加して

今年度の秋も「木津川アート2012」が開催されました。今年度の会場は当尾地区でした。3年前、市の広報で知って以来、ボランティアに参加

加していますが、毎回新しい出会いがあります。新たな町の魅力を発見します。木津川市には、素晴らしい場所がたくさんありますね!「木津川アート2012」も市内外からたくさんの方が来て楽しめました。木津川市の素晴らしさを様々な機会にもっと知ってもらい、多くの人で賑わう木津川市になってほしいと期待します。

お知らせ

3月定例会は2月26日(火)からはじまります。詳しい日程は、19ページをご覧ください。

訂正とお詫び

第22号のわたしの意見でお名前のまちがいがありました。正しくは、福井佳代さんです。

編集後記

「市になって一年。住民の要望・願いをきちんと反映し、住民との『つながり』を大事に考える『木津川市』に育って欲しい。」私が5年前、議会だよりに掲載した文章の一部です。

この間に議会基本条例が制定されて、議会報告会の実施、各委員会で市民の請願等の意見陳述も定着してきました。

議会報告会への市民参加数がまだまだ少ない中で、この議会だよりを手につけて、多くの方が市政に興味を持ち『つながり』を深めていただけたらと願います。

西山 幸千子

広報編集委員会

委員長 高 味 孝之
副委員長 呉 羽 真弓
委員 高 岡 伸行
河 口 靖子
河 本 尚之
柴 田 はすみ
西 山 幸千子
片 岡 廣